



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

長野県 長野市立犀陵中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- **目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- **事業名** : JOCオリンピック教室
- **主催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- **後援** : スポーツ庁
- **協力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- **対象** : 中学2年生
- **講師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- **期間** : 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- **実施校数** : 80校程度
- **実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、
今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック**：竹内 愛奈 先生 (アイスホッケー) 【出場オリンピック/ソチ2014冬季大会、平昌2018冬季大会】

■ **期 日**：2022年11月1日(火)

■ **ク ラ ス**：2年1組/運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・女子アイスホッケー競技でソチ2014冬季大会、平昌2018冬季大会に出場したと自己紹介。その後オリンピックバリューであるエクセレンス：「卓越」「努力する」「頑張る心」、フレンドシップ：「友情」「友達」、リスペクト：「敬意/尊重」「尊敬」と説明。授業を通してオリンピックバリューの3つの言葉を伝えていきたい。準備体操の後、会話やジェスチャーを使用せずに誕生日順に整列するゲームを実施。

○主運動 等



・主運動は「8の字跳び」(全3回)を実施。3つのチームに分かれ、縄の回し手や跳ぶ順番を決め、90秒間連続で跳んだ回数を競う。また各回の開始前に作戦と練習時間を設け、連続で跳ぶ回数を増やすための作戦を話し合う。各チームに、どの部分を工夫したか、また意識したかを尋ね、「回すスピードを速めた」、「縄を回す人を代えた」等の意見が挙がる。



・運動の時間を振り返り、最初に伝えたオリンピックバリューを改めて説明。結果が全てではなく、チーム全体で協力し頑張る姿勢が見えたこと、良い記録を出すためにチーム内で声を掛け合い素晴らしかった。座学の時間は、オリンピックバリューの3つの価値について、自身の経験をオリンピックバリューに結びつけながら話すので、皆も自分のオリンピックバリューを考える時間にしてほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：竹内 愛奈 先生 (アイスホッケー) 【出場オリンピック/ソチ2014冬季大会、平昌2018冬季大会】

■ **期 日**：2022年11月1日(火)

■ **ク ラ ス**：2年1組/座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・ソチ2014、平昌2018冬季大会の2大会に出場したと自己紹介。自身がアイスホッケー競技で使用していたスティックやユニフォーム等の用具を披露しながら競技を説明。運動の時間に伝えたオリンピックバリューの3つの価値について、皆の活動の中で当てはまる部分があったかを考える時間にしてほしいと、授業の目的を確認。自身はアイスホッケー競技を通じて出会えた仲間はとても大切であり、人生の中で大きな影響を受けた。皆も今夢中になっていること、目標にしていることから、将来の目標が見つかるかもしれないと話す。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動の時間に感じた、オリンピックバリューを考えよう。

発表：エクセレンス：「諦めずに一生懸命頑張る」「記録を伸ばすために練習をする」「チーム一丸となって全力で取り組む」等
フレンドシップ：「声を出して協力する」「団結して跳ぶ」「跳ぶ人のことを考えてゆっくり回す」等
リスペクト：「作戦をみんなで出し合う」「意見をみんなで聞く」「気持ちを揃えた」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューを運動の時間で感じる事ができたように、オリンピックだけではなく、日常生活の中にもオリンピックバリューがたくさんある。3つのオリンピックバリューのうち1つだけでも良いので忘れないでほしい。これからの人生の中で目標を達成するために、自分の力を蓄えることも大切だ。夢や目標に向かって頑張って進んでほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：須佐 勝明 先生 (ボクシング) 【出場オリンピック／ロンドン2012大会】

■ **期 日**：2022年11月1日(火)

■ **ク ラ ス**：2年2組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・ロンドン2012大会にボクシング競技で出場したと自己紹介。生徒2名が前に出てグローブをはめ、先生のボディにパンチを打つデモンストレーションを実施。オリンピックは平和の祭典と言われ、競技で競うだけではなく、オリンピックバリューを広める意義もある。オリンピックバリューについて、エクセレンス：「全力」「一生懸命」、フレンドシップ：「友情」「絆」、リスペクト：「尊敬」「感謝」と説明。運動の時間はオリンピックバリューを意識しながら、全員で一生懸命、皆がお互いに感謝をしながら取り組むと授業の目的を伝え、準備運動に移る。



・自身が自衛隊に所属していた際に行っていた、ウズベキスタン体操を実施。その後、準備運動として「新聞じゃんけんバランス」を実施。先生とじゃんけんをし、負けたら新聞紙を半分に折り、誰が最後までバランスを崩さずに立っているかを競う。
 ・主運動は「パス回しリレー」を実施(全3回)。バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、ピンポン玉を使用し、すべてのボールを回し順位を競う。ボールを落とした場合は班全員でその場でバービージャンプを行う。



・「パス回しリレー」の3回目終了後、生徒に工夫した点を尋ねると、「フレンドシップを大切にしたい」、「楽しく感謝しながら、皆で笑顔で取り組んだ」、「エクセレンスを大切に、全力でプレーできた」等の意見が挙がる。
 ・運動の時間はオリンピックバリューの3つの価値について触れたが、座学の時間では自身の経験談を交えながら、オリンピックバリューについて詳しく説明し、皆で考える時間にしよう伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：須佐 勝明 先生 (ボクシング) 【出場オリンピック/ロンドン2012大会】

■ **期 日**：2022年11月1日(火)

■ **ク ラ ス**：2年2組/座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・自己紹介の後、オリンピック出場時の試合映像やスライドを使用し、ボクシング競技を説明。ロンドン2012大会の4年前の北京2008大会では、あと一歩のところまでオリンピック出場を逃してしまい、一度は現役を引退したが、周囲の応援や支えがあり、再びオリンピックを目指すことを決意。諦めずに努力を続けた結果、ロンドン2012大会に出場できた。オリンピックシンボルの5つの輪は、背景の色を含めた6色で世界の国旗が描け、5つの大陸を表している。また、平和な世界を作ることや、オリンピックバリューを感じてほしいというメッセージが含まれていると話す。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：日常生活の中で感じられるオリンピックバリューについて考えてみよう。

発表：エクセレンス：「練習を全力で取り組む」「勉強を一生懸命頑張る」「何事も最後まで諦めずに取り組む」等

フレンドシップ：「クラスの活動でお互いを理解する」「思いやりを持って友達に接する」「クラスの仲間を大切に」等

リスペクト：「親や友達、先生への感謝」「テスト時にルールを守る」「ご飯を作ってくれる人に感謝する」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューは普段の生活の中にあることを理解できたと思う。自身もオリンピックバリューが土台となっているからこそ、現在も豊かな生活を送ることができている。今後、受験や就職等の様々なライフイベントを経験する中で、苦しいことや辛いことを経験することもあるが、その時はオリンピックバリューを思い出してほしいと伝える。最後に生徒からの質問に答え、授業終了。

■オリンピック：須佐 勝明 先生 (ボクシング)【出場オリンピック/ロンドン2012大会】

■期 日：2022年11月1日(火)

■ク ラ ス：2年3組/運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



- ・自己紹介後、生徒2名が前に出てグローブをはめ、先生のボディにパンチを打つデモンストレーションを実施。
- ・オリンピックで知っている競技を尋ねると、フェンシング、水泳、スケートボード等の回答が挙がる。オリンピックバリューの3つの価値について、エクセレンス：「全力」「一生懸命」、フレンドシップ：「友達」「仲良く」、リスペクト：「尊敬」「感謝」だと説明し、運動の時間は、一生懸命、皆と仲良く感謝しながら取り組んでほしいと授業の目的を伝え、準備体操に移る。

○主運動等



- ・自身が自衛隊に所属していた際に実施していた、ウズベキスタン体操を実施。その後「新聞じゃんけんバランス」を行う。先生とじゃんけんをし、負けたら新聞紙を半分に折り、バランスよくその上に立つ。新聞紙が小さくなって立っていることができなくなったら座る。誰が最後まで残れるかを競う。
- ・主運動は「パス回しリレー」を実施(全3回)。班毎の対抗戦とし、バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、ピンポン玉を使用し、全員でパスを繋いで順位を競う。ボールを落とした場合はその場で全員でバーピージャンプを行うペナルティールールを設定。



- ・「パス回しリレー」終了後、生徒に工夫した点を尋ねると、「フレンドシップを大切に仲良く取り組んだ」、「エクセレンスを大切に全力でやりきることができた」等の意見が挙がる。
- ・運動の時間にオリンピックバリューについて触れたが、座学の時間は、自身の経験をオリンピックバリューに結び付けて話すので、皆と一緒に考えてみよう伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：須佐 勝明 先生 (ボクシング) 【出場オリンピック／ロンドン2012大会】

■ **期 日**：2022年11月1日(火)

■ **ク ラ ス**：2年3組／座学の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ オリンピックの価値を伝える



・オリンピック出場時の試合映像やスライドを使用して自己紹介を行う。ロンドン2012大会の4年前の北京2008大会には、あと一步のところまで出場することができず、現役を引退する覚悟を決めた。しかし周囲の支えや励ましもあり、現役復帰を決め、その後ベストを尽くし、仲間と切磋琢磨し合った結果、ロンドン2012大会に出場することができた。近代オリンピックの創始者である、ピエール・ド・クーベルタンが作ったオリンピックシンボルについて、背景の白を含めた6色で世界中の国旗が描けること、5つの輪が5大陸を表していることを説明。

○個人ワーク ～ グループワーク 等



発問：運動の時間を振り返り、どのような点がよかったかオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。

発表：エクセレンス：「最後まで諦めずに取り組んだ」「一生懸命頑張った」「ベストを尽くした」「全員が努力した」等

フレンドシップ：「相手のことを思いやってボールを投げた」「協力してできた」「友情が芽生えた」等

リスペクト：「ルールを守った」「フェアプレーができた」「感謝しながらプレーできた」「掛け声をできる限り出した」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューはオリンピックや運動の時間だけではなく、日常生活の中の多くのことに含まれている。これからも実践することでより豊かな生活を送ることができる。自身もオリンピックバリューが土台となっている。これからの人生の中で、受験や就職等、色々な経験をする中で、辛いことや苦しいこともあるが、その時にオリンピックバリューを頭の片隅で意識し、思い出してほしいと伝える。最後に生徒からの質問に答え、授業終了。

■ **オリンピック**：竹内 愛奈 先生 (アイスホッケー) 【出場オリンピック/ソチ2014冬季大会、平昌2018冬季大会】

■ **期 日**：2022年11月2日(水)

■ **ク ラ ス**：2年4組/運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・ソチ2014、平昌2018冬季大会の2大会に、アイスホッケー競技で出場したと自己紹介。オリンピックバリューの3つの価値について、エクセレンス：「卓越」「諦めないで頑張る」「心を強く持つ」、フレンドシップ：「友情」「仲間を思いやる」「声掛けをする」、リスペクト：「敬意/尊重」「尊敬」と説明し、運動の時間は自分のできる範囲でチャレンジし、仲間と協力しながら楽しく行ってほしいと伝え、準備体操に移る。

○主運動等



・ストレッチ等の準備体操の後、会話や大きなジェスチャーを使わずに、誕生日順に整列するゲームを実施。足で数字を表す等の工夫をし、生徒自らがどのようにして誕生日を相手に伝えられるかを考えながら実施。結果は制限時間内に整列することができた。
 ・主運動は、「8の字跳び」(全3回)を実施。2班合同の3チームに分かれ、制限時間90秒の間に連続で跳べた回数を競う。各回毎、開始前に作戦と練習の時間を設け、回数を増やすにはどうすればよいかを話し合う。3回目終了後に各チームに意識した点を尋ねると、「ミスが少ないように、縄をゆつり回した」、「縄の長さを短くした」等の意見が挙がる。



・運動の時間を振り返り、結果が全てではなく、作戦をしっかり立て、チームが和気あいあいと楽しくできたことはとても大切なことで素晴らしい。座学の時間は、オリンピックバリューの3つの価値について、自分の経験談をオリンピックバリューに結び付けて話し、運動の時間を振り返りながら、皆でオリンピックバリューを考えようと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：竹内 愛奈 先生 (アイスホッケー)【出場オリンピック/ソチ2014冬季大会、平昌2018冬季大会】

■ **期 日**：2022年11月2日(水)

■ **ク ラ ス**：2年4組/座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



- ・自己紹介の後、オリンピックシンボルの5つの輪には、背景の白を含めた6色で世界の国旗が描け、5つの輪は5大陸を表していると説明。
- ・スライドを使用し、競技の説明をしながら、自身が実際にオリンピックで着用したユニフォームを披露。オリンピックバリューの3つの価値について、オリンピックに出場したオリンピックだけのものではなく、自分たちの日常生活の中にも当てはまる部分がたくさんあることに気づき、またそれを考えながら授業に臨んでほしいと、授業の目的を伝える。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動の中で感じたオリンピックバリューを考えよう。

- 発表：エクセレンス：「記録を伸ばすために、みんなで作戦を考えた」「全力で取り組んだ」「最後まで諦めずに頑張って跳んだ」等
 フレンドシップ：「お疲れ様と声を掛け合うことができた」「仲間が跳びやすい様に丁寧に縄を回した」「チームワークを発揮できた」等
 リスペクト：「縄を回してくれた仲間への感謝」「カウントする際、ルールを守って行うことができた」等



- ・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューは、オリンピックだけではなく、運動の時間でも感じる事ができたと思う。何気なく過ごしている日常生活の中にもオリンピックバリューは存在する。そして、何事にも恐れずに挑戦することで自分自身を変えることができ、道を切り開くことができたと話し、授業終了。

■ **オリンピック**：須佐 勝明 先生 (ボクシング)【出場オリンピック/ロンドン2012大会】

■ **期 日**：2022年11月2日(水)

■ **ク ラ ス**：2年5組/運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・ロンドン2012大会にボクシング競技で出場したと自己紹介。実際にボクシングを体験してほしいと伝え、生徒2名が前に出て、グローブを付け先生のボディを打つデモンストレーションを実施。オリンピックは競技を競うだけではなく、オリンピックバリューを広めることも大切な目的の一つだと話す。オリンピックバリューの3つの価値について、エクセレンス：「全力」「一生懸命」、フレンドシップ：「友情」「仲良くする」、リスペクト：「尊敬」「感謝」と説明。運動の時間は、オリンピックバリューを感じながら、全力で、仲良く、思いやりを持って、感謝しながら取り組んでほしいと授業の目的を伝える。

○主運動 等



・準備運動は、自身が自衛隊に所属していた際に行っていたウズベキスタン体操を実施。その後「新聞じゃんけんバランス」を実施。先生とじゃんけんをし、負けた生徒は新聞紙を半分に折りその上にバランス良く立つ。誰が最後まで新聞紙の上に乗っているかを競う。
 ・主運動は「パス回しリレー」を実施(全3回)。バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、ピンポン玉の4種類のボールを使用し、班全員でパスを繋ぎ、順位を競う。ボールを落とした場合は全員でその場でバーピージャンプを実施する、ペナルティを設ける。



・「パス回しリレー」の3回目終了後、生徒に工夫した点を尋ね、「エクセレンスを意識して、皆で一生懸命行った」、「フレンドシップを忘れずに仲良く皆と一緒に実施することができた」等の意見が挙がる。授業の最初に伝えた、全力で、仲良く、思いやりを持って、感謝しながら取り組むことについて、皆全員が実践できていたと話す。座学の時間は、オリンピックバリューについて、自身の経験を話すので、皆も一緒に考えようと言え、授業終了。

■ **オリンピック**：須佐 勝明 先生 (ボクシング) 【出場オリンピック/ロンドン2012大会】

■ **期 日**：2022年11月2日(水)

■ **ク ラ ス**：2年5組/座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・自己紹介の後、オリンピック出場時の試合映像やスライドを使用し、競技を説明。近代オリンピックの創始者である、ピエール・ド・クーベルタンが提唱したオリンピックバリューについて改めて説明。自身は一度、夢を諦め現役を引退するが、周りで励ましてくれ支えてくれた人達のおかげで、再度現役に復帰し、オリンピックを目指し夢を実現した。全力で取り組むこと、仲間と切磋琢磨することの大切さを実感する。そのことはオリンピックだけが感じる事ではなく、皆の日常生活にも存在すると話す。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動の時間を振り返り、どのような点がよかったかオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。

発表：エクセレンス：「諦めず全力で取り組んだことで、順位を上げることができた」「最後まで全力で走った」「ベストを尽くすために努力した」等
 フレンドシップ：「チームワークを意識した」「協力して作戦を考えることができた」「全員で応援し、楽しむことができた」等
 リスペクト：「相手を思って取りやすいボールを投げる事ができた」「ボールを落とした時にルールを守ってバービージャンプをした」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューが日常生活の中に存在し、それを意識して毎日を過ごすことで、より豊かな生活になる。自身も日常生活の中でオリンピックバリューを考えて行動している。これから受験や就職等の様々な経験の中で、苦しいことや辛いことも経験すると思うが、その時にオリンピックバリューを思い出すことで乗り越えられる壁もあるので、諦めずに頑張ってほしいと伝える。最後に生徒からの質問に答え、授業終了。

■ **オリンピック**：須佐 勝明 先生 (ボクシング)【出場オリンピック／ロンドン2012大会】

■ **期 日**：2022年11月2日(水)

■ **ク ラ ス**：2年6組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



・ロンドン2012大会にボクシング競技で出場したと自己紹介。生徒2名が前に出てグローブを付け、先生のボディにパンチを打つデモンストレーションを実施。オリンピックには競技を競う以外に、オリンピックバリューを広める目的がある。オリンピックバリューの3つの価値について、エクセレンス：「全力」「一生懸命」「ベストを尽くす」、フレンドシップ：「仲間」「友達」、リスペクト：「尊敬」「感謝」と説明。運動の時間はオリンピックバリューを意識しながら、ベストを尽くし、仲間と仲良く、思いやりを持って運動してほしいと伝える。

○主運動 等



・自身が自衛隊に所属していた際に行っていたウズベキスタン体操を紹介、その後、「新聞じゃんけんバランス」を実施。先生とじゃんけんをし、負けた生徒は新聞紙を半分に折り、その上にバランスよく立つ。誰が最後まで新聞紙の上に乗っているかを競う。
 ・主運動は「パス回しリレー」を実施(全3回)。班毎の対抗戦とし、4種類の異なるボール(バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、ピンポン玉)を使用し、全員がパスで繋いで順位を競う。ボールを落とした場合はその場で全員がパービージャンプをするペナルティールールを設定。



・「パス回しリレー」の3回目終了後、各班の班長が工夫した点を皆の前で発表し、「皆と一緒に頑張れた」、「一生懸命できた」等の発表がある。
 ・運動の時間を振り返り、オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について再度触れ、座学の時間で、自身の経験談を話しながら、オリンピックバリューについて詳しく説明し、皆も考える時間にしてほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：須佐 勝明 先生 (ボクシング) 【出場オリンピック/ロンドン2012大会】

■ **期 日**：2022年11月2日(水)

■ **ク ラ ス**：2年6組/座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・自己紹介の後、オリンピック出場時の試合映像やスライドを使用し、競技説明をする。オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」は、近代オリンピックの創始者であるピエール・ド・クーベルタンが提唱した。その後オリンピックシンボルについて、背景を含む6色で世界中の国旗が描けること、5つの輪は5つの大陸を表わし、世界の平和と結びつきを願ったと説明。
 ・一度夢を諦め現役を引退したが、多くの仲間を支えられ、励まされ現役に復帰できたからこそ、夢を叶えることができ、周りの人や環境に感謝している。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動の時間を振り返り、どのような点がよかったかオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。
 発表：エクセレンス：「他の班がゴールしていても、諦めずに最後まで頑張った」「最後まで全力で取り組めた」等
 フレンドシップ：「仲間のことを思いやりボールを投げた」「ボールを落とさないように協力した」「声を掛け合った」等
 リスペクト：「ルールを守ることができた」「お互いを尊重しフェアプレーができた」「感謝と言動に気を付けた」「ルールを守って楽しくできた」等



・座学の時間を振り返り、自身もオリンピックバリューを日々意識することで人生の糧になり、日常生活の中で様々な場面で関わってくる価値である。これから、受験や就職等多くのライフイベントが続く中で、苦しいことや辛い思いを経験することもあると思うが、その時に今日の授業で感じたオリンピックバリューを1つでも思い出して頑張してほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年1組



・2年2組



■集合写真

・2年3組



・2年4組



■集合写真

・2年5組



・2年6組



■ 記念品贈呈

・2年1組



・2年2組



・2年3組



・2年4組



・2年5組



・2年6組



■ 修了証贈呈

